九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Essays on the process of economic development: Middle-income trap and economic convergences

アウグスト, リカルド, デルガド, ナーロ

https://hdl.handle.net/2324/2534375

出版情報：Kyushu University, 2019, 博士（経済学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

KYUSHU UNIVERSITY

（様式６－２）

氏　　名	AUGUSTO RICARDO DELGADO NARRO
論 文 名	Essays on the process of economic development: Middle-income trap and economic convergences （経済発展過程に関する研究：中所得国の罠と経済収束）
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　瀧本　太郎 副　査　　九州大学　　准教授　　宮﨑　毅 副　査　　九州大学　　准教授　　池下　研一郎

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は，経済発展過程について，中所得国の罠と一国（日本）の経済収束に焦点を当て，パネルロジットモデル，時系列モデル，空間計量経済モデルを用いて分析したものである．

第1章では，問題の背景説明の後，研究課題と本論文の貢献についての要約がなされる．第2章では，中所得国の罠と経済収束について，その定義と実証研究を中心に関連する先行研究のサーベイを行っている．第3章では，パネルデータを用いて，中所得国の罠にとどまる確率に影響を与える要因を分析している．第4章では，日本の都道府県データを用いて，経済収束状況の実証分析を行い，定常状態を共有する複数のクラブ（都道府県のグループ）の存在可能性について検証している．第5章では，第4章と同じく日本の都道府県データに基づく分析を行うが，都道府県間の空間相関を考慮したモデルに基づいて経済収束状況に関する実証分析を行っている．第6章では，分析のまとめと今後の課題がまとめられている．

本論文の主要な貢献は，（１）中所得国の罠を定義する際に，アメリカとの相対的な経済規模とその国の経済成長率について，10 年平均に基づき新しい定義を提示したこと，また，各国が位置する大陸におけるリーダー国を定義し，リーダー国の経済成長率が中所得国の罠に陥る確率を有意に引き下げることを示したこと，（２）日本には，40 道府県と 5 県からなる 2 つのクラブが存在しており，さらに東京都と奈良県がどちらのクラブにも所属していないことを明らかにしたこと，（３）空間相関を考慮しない場合，経済収束スピードを過大評価している可能性があることを示したこと，などである．

本論文は，新しく中所得国の罠の定義やリーダー国を提案し，その妥当性についても詳細に検討していること，各章において複数の検定統計量による比較や複数のモデルの推定などを通し，丁寧に分析を行ったうえで結果の解釈を行っている点に特徴があり，経済発展過程に関する研究に新しい知見をもたらしているものと評価できる．得られた結果の具体的な波及経路やそれらの政策的含意について，本論文を出発点により詳細な解明が望まれるが，これらの点は本論文の価値を損なうものではなく，今後鋭意追及すべき課題に属する．

以上の点から，本論文調査会は，AUGUSTO RICARDO DELGADO NARRO 氏から提出された論文“Essays on the process of economic development: Middle-income trap and economic convergences”を博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める．